

## 2021年度亀田医療大学2年次後期開講科目高齢者看護学概論について

(連携組織)

鴨川市福祉相談センター

(実施学部・学科)

亀田医療大学看護学部看護学科

(授業概要)

高齢者の健康増進やQOL (Quality Of Life) の向上についての学問的追求と知識の向上を図ることは、長寿社会を迎えた日本、特に高齢化率の高い南房総地区においては重要な課題である。このコースは、高齢者を身体・生理的側面、ライフステージ、社会的な側面から理解し、適切な看護を実践するための理論と技術を学ぶ。

(開講目的)

◆2021年度シラバスにて記載

1. 長寿化を社会現象として捉え、それに伴う社会の対応と課題について考察する。
2. 高齢者を身体的生理的側面、心理・精神、スピリチュアル的側面、社会環境的側面から考察し、高齢者の特徴とその生活について理解することができる。
3. 高齢者のための看護に有効な理論について考察することができる。
4. 保健医療福祉制度の変革が看護にもたらす影響と看護師が果たす役割の変化について論議する。

(具体的な内容)

◆2021年度シラバス授業計画〔13〕

鴨川市のソーシャルワーカーによる講義「高齢者の権利擁護と倫理的課題」と、市職員・介護職員・本学学生が協働で演じる高齢者虐待事例の寸劇を鑑賞させ、高齢者における倫理的課題や虐待防止の意見を踏まえたレポートを学生より鴨川市へ提出している。

(地域における課題)

鴨川市及び安房郡市における(終末期)高齢者の増加はMCIの発症、IADLの低下の要因であり、そのために必要な看護支援やQOLの理解が求められる。